

付 録

RDS-LP Series **USERS MANUAL**

1. 製品仕様

製品仕様

型 式		RDS-90LP	RDS-180LP	RDS-240LP	RDS-360LP
RAID 動作モード		RAID-0 / 1 / 3 / 5			
容 量	RAID-0 時	約 90 GB	約 180 GB	約 240 GB	約 360 GB
	RAID-1 時	約 30 GB	約 60 GB	約 80 GB	約 120 GB
	RAID-3 / 5 時	約 60 GB	約 120 GB	約 160 GB	約 240 GB
搭載ドライブ		30GB × 3 台	60GB × 3 台	80GB × 3 台	120GB × 3 台
SCSI 規格		Ultra 160 SCSI (Low Voltage Differential 68 ピンコネクタ)			
最大 SCSI 転送レート		160 MB / Sec (理論値)			
SCSI バス幅		16 bit			
キャッシュメモリ 容 量		64 MB			
電 源 仕 様		100 V ± 10 %、50 ~ 60 Hz			
消 費 電 力		MAX 80 W (搭載ドライブにより異なる)			
外 形 寸 法		43.6 mm(H) × 430 mm(W) × 500 mm(D)			
付 属 品		電源ケーブル、ラックマウントブラケット 2 個、ネジ 4 本、 スライドレール用ネジ 10 本、保証書および登録証、ユーザー ズマニュアル			

型 式		RDS-90LP	RDS-180LP	RDS-240LP	RDS-360LP
論 理 シ リ ン ダ 数	RAID MODE 0	49042	49042	65389	50235
	RAID MODE 1	65389	65389	43593	33490
	RAID MODE 3	65389	65389	43592	33490
	RAID MODE 5	65389	65389	43592	33490
論理ヘッド数		14			
論理セクタ/ トラック数		256 : RAID-0 64 : RAID-1 128 : RAID-3/5	512 : RAID-0 128 : RAID-1 256 : RAID-3/5	512 : RAID-0、 RAID-3/5 256 : RAID-1	1024 : RAID-0、 RAID-3/5 512 : RAID-1

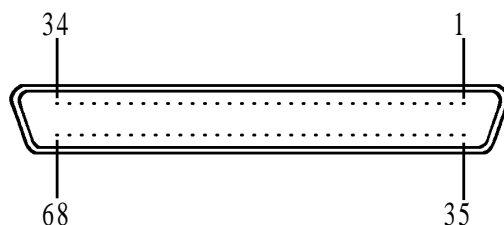
使用環境

周 囲 温 度	動作時 : 5 ~ 35 保管時 : -40 ~ 60
湿 度	動作時 : 20 ~ 80 % (結露なきこと) 保管時 : 5 ~ 95 % (結露なきこと)
最大湿球温度	29
塵 埃	一般事務室なみ
衝 撃 許 容 度	動作時 : 5 G 保管時 : 50 G
高 度	動作時 : 0 ~ 3000 m 保管時 : 0 ~ 12000 m

2. インターフェースコネクタ

LVD(Low Voltage Differential) Wide Ultra 2 SCSI

LVD(ロウボルテージディファレンス) 16 ビット Wide Ultra 2 SCSI。
コネクタは、SCSI-3 の P コネクタコンパチブルピンコネクションを使用しています。



信号名	ピン番号	ピン番号	信号名
+DB (12)	1	35	-DB (12)
+DB (13)	2	36	-DB (13)
+DB (14)	3	37	-DB (14)
+DB (15)	4	38	-DB (15)
+DB (P1)	5	39	-DB (P1)
+DB (0)	6	40	-DB (0)
+DB (1)	7	41	-DB (1)
+DB (2)	8	42	-DB (2)
+DB (3)	9	43	-DB (3)
+DB (4)	10	44	-DB (4)
+DB (5)	11	45	-DB (5)
+DB (6)	12	46	-DB (6)
+DB (7)	13	47	-DB (7)
+DB (P)	14	48	-DB (P)
GND	15	49	GND
DIFF SENS	16	50	GND
TMPWR	17	51	TMPWR
TMPWR	18	52	TMPWR
RES	19	53	RES
GND	20	54	GND
+ATN	21	55	-ATN
GND	22	56	GND
+BSY	23	57	-BSY
+ACK	24	58	-ACK
+RST	25	59	-RST
+MSG	26	60	-MSG
+SEL	27	61	-SEL
+C/D	28	62	-C/D
+REQ	29	63	-REQ
+I/O	30	64	-I/O
+DB (8)	31	65	-DB (8)
+DB (9)	32	66	-DB (9)
+DB (10)	33	67	-DB (10)
+DB (11)	34	68	-DB (11)

DIFF SENS : 差動モード検出 SE : <0.5V LVD : 0.7V ~ 1.9V

TMPWR : ターミネータパワー RES : リザーブ

注) ピン番号は Connect Contact Number です。

3. Web によるモニタ表示

RAID Web Monitor をご使用になる場合、RDS-LP が接続されているサーバ側に、下記のソフトウェアが必要になります。

- ASPI32 (Adaptec 社製 EZ-SCSI 4.0 以降)
- Perl5 (配布キットが多くのサイトより配布)
- Microsoft Internet Information Server
(マイクロソフト社より無料配布されている Web Server)

1. ASPI32

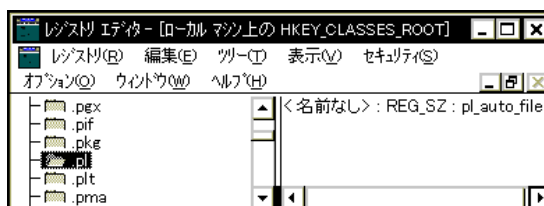
EZ-SCSI よりインストールします。
(「EZ-SCSI」添付のインストール方法を参照してください)

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「デバイス」のデバイス「ASPI32」の状態が「開始」であれば正常に登録されています。

2. Perl5

Perl の配布キットが多くのサイトから入手できます。
(「Web の検索」より「Perl5 win」等を検索)

Perl のインストールが正常に終了しますと、「スタート」 - 「ファイル名を指定して実行」で REGEDT32.EXE を起動して、HKEY_CLASSES_ROOT を参照すると、キー「.PL」が追加されています。



⚠ 注意



PERL.EXE は URL からアクセスできたり、実行できるような場所に置いてはいけません。
セキュリティ上 大変危険です。

3 . Internet Information Server (IIS)

IIS のインストールは、「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」 - 「サービス」タブを開いて追加ボタンをクリックします。

Microsoft Internet Information Server をクリックして、「OK」ボタンをクリックしてください。

インストール後、「スタート」 - 「プログラム」 - 「Microsoft インターネットサーバー(共通)」 - 「インターネットサービスマネージャ」を起動し、コンピュータ「RAID が接続されているサーバ」、サービス「WWW」の欄をクリックして、「プロパティ」メニューの「サービスプロパティ」にある「ディレクトリ」プロパティシートを開いてください。



エイリアス「/Scripts」を選択してから、「プロパティの編集」ボタンをクリックして、「アクセス」チェックボックスの「読み取り」をチェックします。



サービスを一旦中止して、再度開始してください。

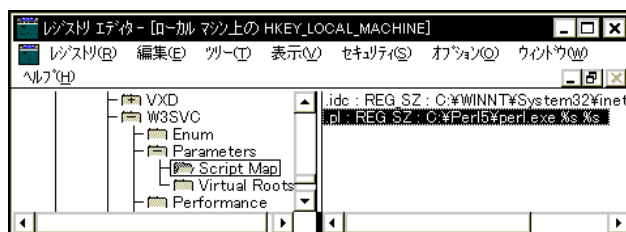
4 . レジストリの変更

サーバ側のレジストリを変更します。

「スタート」 - 「ファイル名を指定して実行」で「REGEDT32.EXE」を起動して、HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Service¥W3SVC¥Parameters¥ScriptMapを開きます。

「編集」メニューの「値の追加」で、値「.pl」、データタイプ「REG_SZ」、文字列「<絶対パス>¥perl.exe %s %s」を追加します。

<絶対パス>は、「2 . Perl5」でインストールした場所です。



5 . RAID Web Monitor インストール

サーバ側に RAID Web Monitor をインストールします。

弊社ホームページ(<http://www.texa.co.jp>)の「ファイルサーバ」 - 「BenchMarks & Disk Array Monitor Utilities.(Windows 95/98/ME/NT/2000 Base)」 - 「Web base GUI Monitor Utilities through SCSI by ASPI driver. (perl & C)」 - 「alin.exe」をインストールします。

(allin.exe をダウンロードして実行する)

インストール先は、ここでは「C:\Inetpub\Scripts」とします。

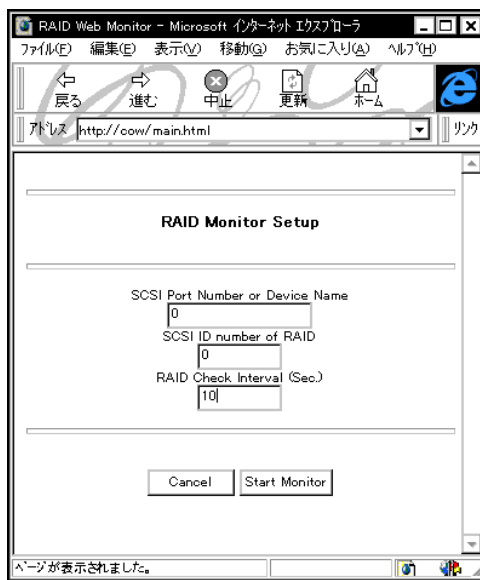
「main.html」と「daview.html」を「C:\Inetpub\wwwroot」にコピーします。

(パス名「C:\Inetpub」は IIS がデフォルトの場合です。)

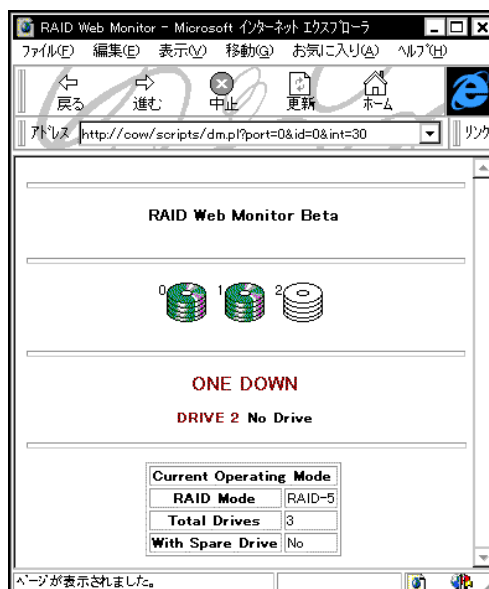
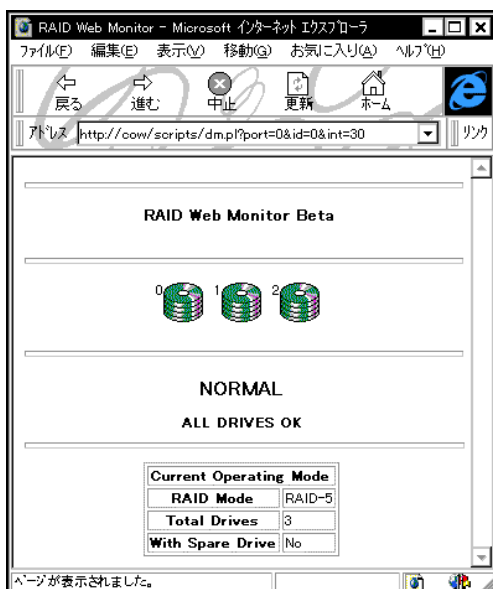
6. RAID Web Monitor の起動

クライアント側でWWWを起動します。

アドレスに「<http://<RAIDが接続されたサーバ機>/main.html>」を指定します。



SCSI Port Number or Device Name、SCSI ID number of RAID、RAID Check Interval(Sec.)に HOST ADAPTER No.、RAID の ID No.、インターバル時間をセットして、「Start Monitor」をクリックします。



HOST ADAPTER No.は、EZ-SCSI 付属のユーティリティで確認することが出来ます。EZ-SCSI の「SCSI Explorer」を起動して、「Interrogator」シートの「ID #?:ADAPTER」をクリックして表示される「General Info」シートに「ASPI HOST Adapter ID」が表示されます。

4. Windows のデータ転送速度の高速化

Enhanced Scatter / Gather 設定方法

Windows で 1 度に大きなサイズのデータ(64KByte 以上)を転送する場合、レジストリへサブキーを追加することで転送を高速化できます。

Windows のスキャット・ギャザ・リストの長さを拡張する機能を使用する方法です。

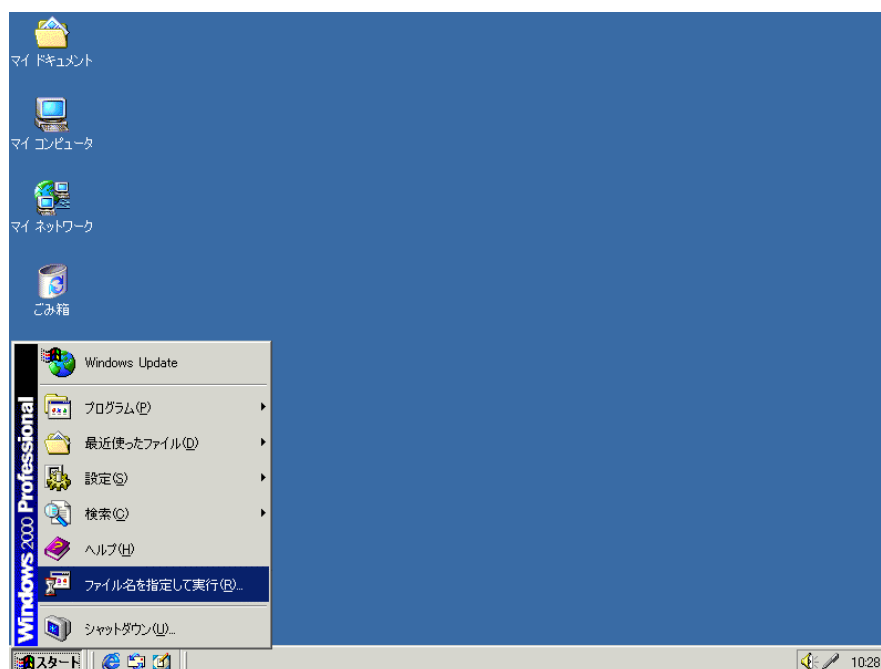
Windows は、4096 バイトのセグメントでメモリを管理しており、一度に転送できるデータの長さは、このセグメント番号の集まりを指定するスキャット・ギャザ・リストの大きさ $\times 4096$ バイトとなります。

このリストの長さは標準で 16(従って 64KByte)ですが、255(1020KByte)まで拡張できます。ここでは、この拡張方法について説明します。

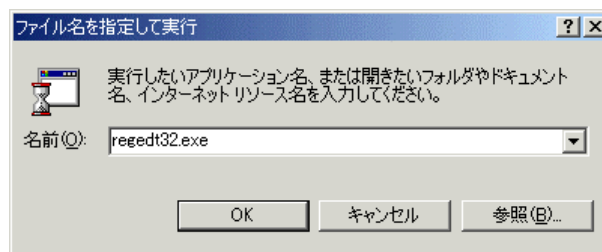
<Windows NT Ver.4.0/ 2000 の場合>

Windows を起動します。

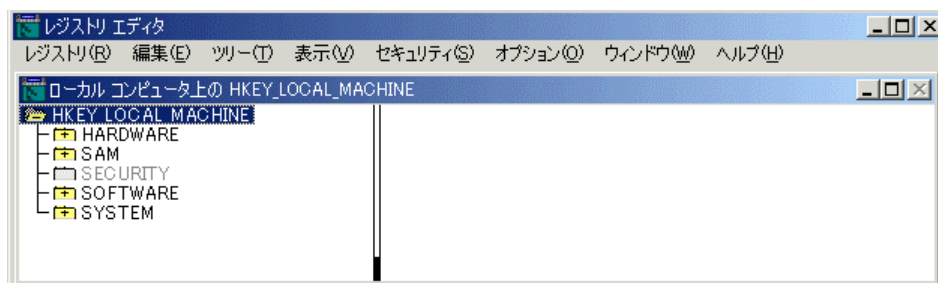
スタートボタンの「ファイル名を指定して実行する」を選択します。



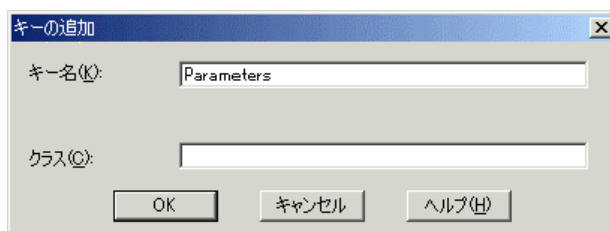
アプリケーション名「REGEDT32」を実行します。



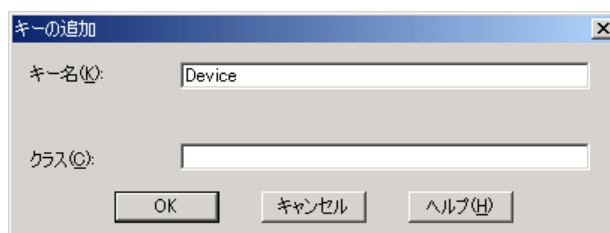
レジストリエディタの HKEY_LOCAL_MACHINE を選択します。



「SYSTEM」 - 「CurrentControlSet」 - 「Services」 - 「aic78u2」の下に(編集 / キーの追加)で、「Parameters」サブキーを追加します。
(「aic78u2」は、インターフェースボードが AHA-2940U2W の場合です。他インターフェースボードの場合は、それに対応したデバイスドライバ名のディレクトリの下に追加してください。)すでに Parameters サブキーが存在する場合、この操作は必要ありません。



(追加した)Parameters キーの下に(編集 / キーの追加)で、「Device」サブキーを追加します。複数の SCSI ホストアダプタを搭載する場合、キー名を「Device0」、「Device1」、「Device2」、...、と設定することで、特定の SCSI ホストアダプタを指定することができます。

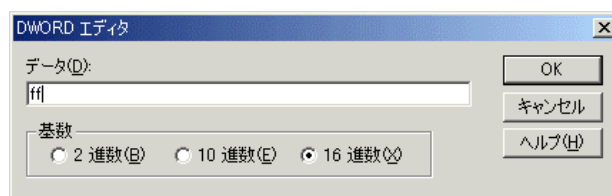


Device 内に(編集 / 値の追加)で、値を設定します。
新しい数値名は、「MaximumSGList」を入力して、データタイプは「REG_DWORD」を選択します。

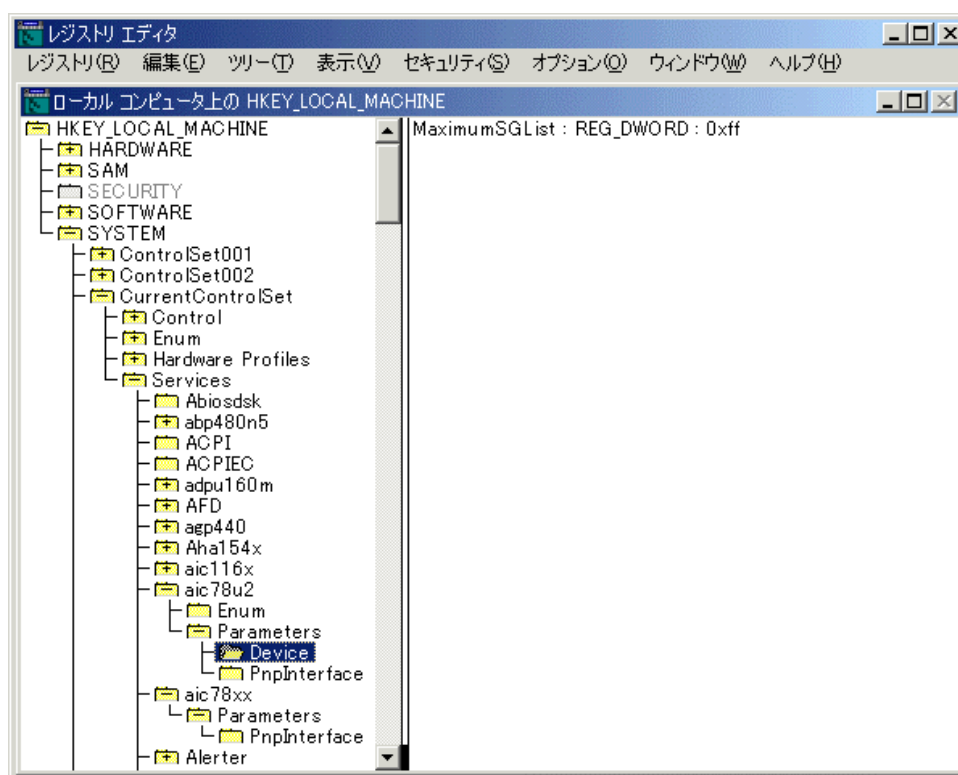


転送サイズを 1MByte(FFhex)とします。

また、転送サイズを本体搭載のキャッシュサイズ値の半分くらいに設定するとパフォーマンスが上がる場合もあります。



レジストリエディタの設定が終了すると、以下の通りになります。



レジストリエディタを閉じて、Windows を再起動します。
(設定は再起動後から有効になります。)

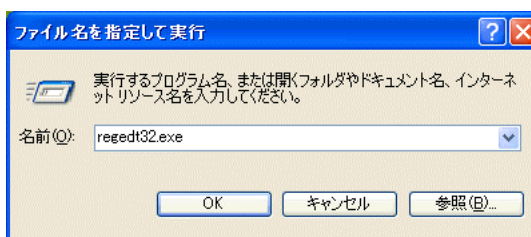
< Windows XP の場合 >

Windows XP を起動します。

スタートボタンの「ファイル名を指定して実行」を選択します。



アプリケーション名「regedt32」を実行します。

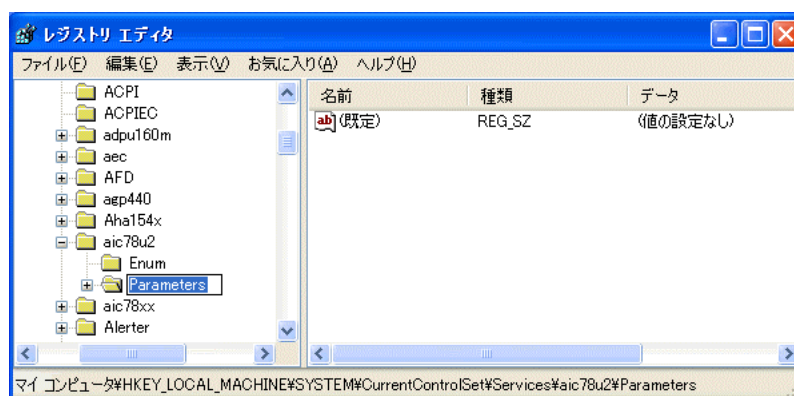


レジストリエディタの HKEY_LOCAL_MACHINE を選択します。

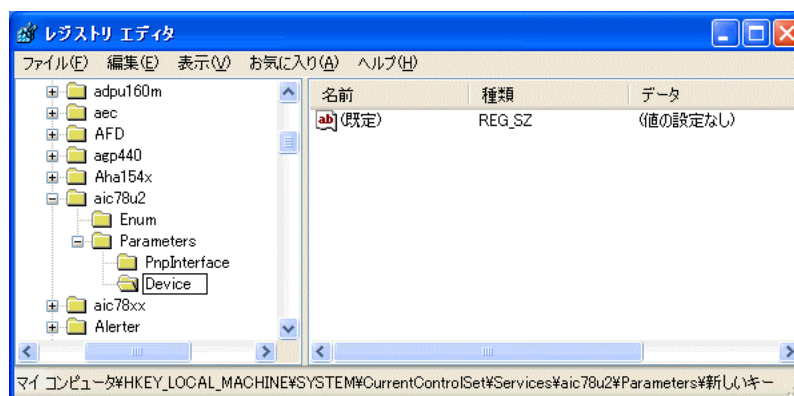


「System」-「CurrentControlSet」-「Services」-「aic78u2」の下に(編集 / 新規 / キー)で、「Parameters」サブキーを追加します。

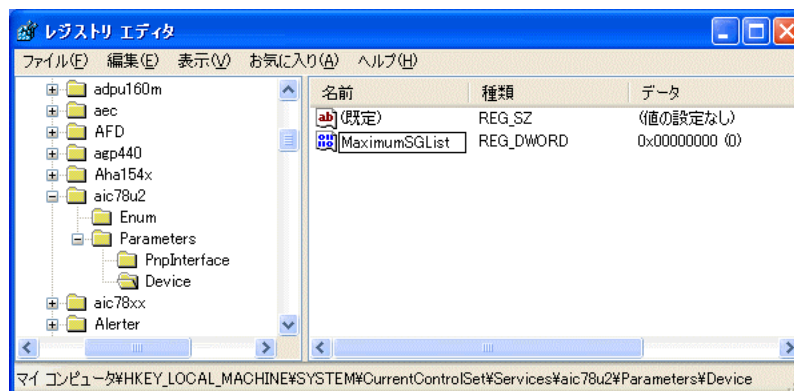
(「aic78u2」は、インターフェースボードがAHA-2940U2W の場合です。他インターフェースボードの場合は、それに対応したデバイスドライバ名の下に追加してください。)
すでに Parameters サブキーが存在する場合、この操作は必要ありません。



(追加した)Parameters キーの下に(編集 / 新規 / キー)で、「Device」サブキーを追加します。複数の SCSI ホストアダプタを搭載する場合、キー名を「Device0」、「Device1」、「Device2」... と設定することで特定の SCSI アダプタを指定することができます。

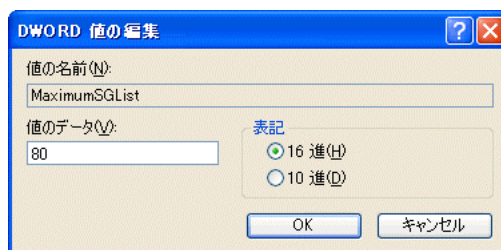


Device 内に(編集 / 新規 / DWORD 値)で値を設定して、新しい数値名「MaximumSGList」を入力します。

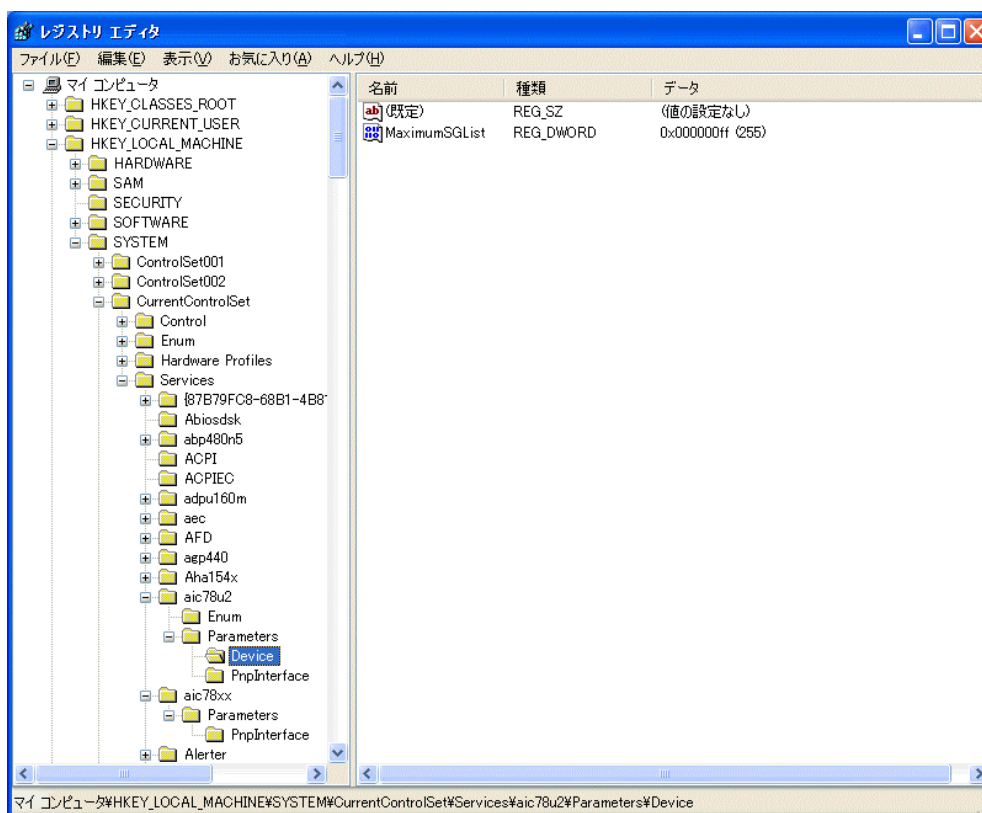


転送サイズを512KByte (80hex) とします。

転送サイズを本体搭載のキャッシュサイズ値の半分くらいに設定すると、パフォーマンスが上がる場合もあります。



レジストリエディタの設定が終了すると、以下の通りになります。



レジストリエディタを閉じて、Windows を再起動します。
(設定は再起動後から有効になります。)

5. アフターケアのご案内

サポートへの問い合わせは、下記の項目に従い、確認項目を次項に書き留めてご連絡ください。
サポート時間を短縮して、効率の良いサポートを受けることができます。

サポートを受けながら操作できる環境で！

できるだけ RDS-LP を操作できる環境からお問い合わせください。

システム構成を確認する！

ご使用中のホストコンピュータ(型式)、インターフェースボード(型式)、OS 名、OS のバージョンを確認します。

RAID モードを確認する！

RDS-LP の RAID モードを確認してください。☞「第 2 章 2.5.2 パラメータ確認方法」

質問の要点をまとめる！

「何をしていたら」、「どのような状態になったのか」ご質問の要点をまとめてください。

エラーコードを確認する！

「ONE DOWN」や「SYSTEM DOWN」のメッセージの最後に、アルファベットが 1 文字または、LCD 部の端に「.」、「:」が表示されていないか確認してください。

☞「第 4 章 4.10 アレイコントローラエラー表示」

RAID-x ONE DWN

製造番号を確認する！

保証書または、製品の底面または、MODE スイッチと SELECT スイッチを同時に押して確認してください。☞「第 2 章 2.5.2 パラメータ確認方法」

⚠ 注意



ケアレスミスにご注意！

単純なミスを行っていないか、再度確認する。
(コネクタが最後まで確実に接続されていないなど。)
また、マニュアルに問題点の内容が記述されていないか確認する。

テクニカルサポート連絡先

テクサ株式会社

TEL 045-473-7983 受付時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

e-mail support@texa.co.jp

土曜、日曜、祭日、年末年始、夏期休暇等はお休みさせていただきます。

万が一、故障で修理を受けられる場合、以下の修理規約に従って実施させていただきます。

弊社へ修理を依頼される場合

ドライブがハード的な故障(ディスクに傷が付く等)で動作不可能なときは、弊社までご連絡ください。

保証期間(1年間)が過ぎていない製品に対しては、交換ドライブを無償でお送りさせていただきます。交換ドライブが届きましたら、梱包箱に故障したドライブを入れ替えて弊社宛に送ってください。この際の輸送料については勝手ながらご負担をお願いします。

RDS-LP 本体の故障の場合には、製品が梱包されていた箱に入れて弊社宛にお送りください。なお、修理を依頼される際には、保証書のコピーと添付の修理依頼書の各項目へ明確に記入して、必ず修理品に添付してください。

販売店へ修理を依頼される場合

お客様が購入された販売店に修理を依頼される場合は、次のように行ってください。

製品の保証期間内でドライブが故障の場合には、お手数ですが段ボール類に布などの緩衝材でくるんでからドライブを梱包して販売店までお持ちください。交換ドライブをお送りさせていただきます。

RDS-LP 本体の故障の場合には、製品が梱包されていた箱に入れ、お買い上げの販売店宛にお送りください。

なお、修理を依頼される際は、必ず保証書のコピーを修理品に添付してください。

保証期間と修理費用について

お客様の購入日より1年間は保証期間とさせていただきます。

この保証期間内に発生した故障については、無償修理となります。

但し、保証書に記載されている保証規定により、保証期間内でも有償扱いとさせていただきますことがありますのでご了承ください。

保証期間を過ぎた製品については、基本的に有償修理扱いとなります。

環境および質問事項

ご使用中の ホストコンピュータ	メーカー名： 型 式：
インターフェース ボード	メーカー名： 型 式： ドライバ名：
OS 名、OS の バージョン	
RAID モード	
エラーコード	
形 名	RDS-
製 造 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
質問の要点	

RDS-LP 管理ノート

MODEL :	HOST :		
S/N :	OS Ver. :		
RAID MODE :	I/F :		
ID 番号 :	その他 :		
日付	導入・障害履歴等	メーカー対応	結果

修理依頼書

年 月 日

きりとり

お 名 前 (貴社名・ご担当者名)	(フリガナ)	
ご 住 所	〒	
電 話 番 号		
F A X 番 号		
ホストコンピュータ本体		
SCSI インターフェース ボード	メーカー名	型 式
使用 OS / バージョン		
修理依頼品の ID 番号や 他の周辺機器の ID 番号 メーカー名・型式		
故 障 状 況 (具体的に詳しく記述 してください)		

製造販売元

TEXA テクサ株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2 丁目 2-8
ナラビル 3 階

TTFM28673